

令和4年12月19日

株主各位

会社名 ジョルダン株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 俊和
(コード：3710、東証スタンダード市場)

「第43期定時株主総会招集ご通知」の一部訂正について

令和4年12月7日付にてご送付いたしました当社「第43期定時株主総会招集ご通知」におきまして、一部訂正すべき事項が生じたので、謹んでお詫び申し上げますとともに、本ウェブサイトへの掲載をもって下記のとおり訂正させていただきます（訂正箇所は下線で示しております）。

記

訂正箇所

- (1) 第43期定時株主総会招集ご通知 22頁
連結損益計算書

【訂正前】

(単位：千円)

科 目	金 額
当 期 純 利 益	51,675
非支配株主に帰属する当期純損失	<u>13,758</u>
親会社株主に帰属する当期純利益	65,435

【訂正後】

(単位：千円)

科 目	金 額
当 期 純 利 益	51,675
非支配株主に帰属する当期純損失	<u>13,759</u>
親会社株主に帰属する当期純利益	65,435

(2) 第43期定時株主総会招集ご通知 36頁
株主総会参考書類 第2号議案 注記

【訂正前】

(注) 1. 各候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。

2. 取締役候補者 東條巖氏及び馬野耕至氏は、社外取締役候補者であります。

なお、当社は東條巖氏及び馬野耕至氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ており、両氏が選任された場合は、引き続き両氏を独立役員とする予定であります。

3. 社外取締役候補者の選任理由及び在任期間

東條巖氏は、長年にわたり、システム開発会社の経営にあたられた豊富な経験、知識を有しており、それらを当社の経営に活かしていただくため、社外取締役候補者として選任をお願いするものであります。

なお、同氏の社外取締役としての在任期間は、本定時株主総会終結の時をもって6年となります。

馬野耕至氏は、メディア戦略の企画等に関する豊富な経験、知識を有しており、当社の事業に有益な助言をいただけるものと判断し、社外取締役候補者として選任をお願いするものであります。

なお、同氏の社外取締役としての在任期間は、本定時株主総会終結の時をもって5年となります。

【訂正後】

(注) 1. (略)

2. (略)

3. 取締役(社外取締役を除く)候補者の選任理由

佐藤俊和氏は、当社の創業者であり、代表取締役社長として長年にわたり経営の指揮を執り、業績の拡大等企業価値の向上に貢献してまいりました。そのリーダーシップと判断力、先見性は当社の経営に欠かせないものと判断し、引き続き取締役候補者といたしました。

坂口京氏は、長年にわたり当社の経営に携わり、主に技術面から事業の成長と業績の向上に尽力しております。その経験とソフトウェア技術全般に関する豊富な知識により、当社の経営と業務執行に重要な役割を果たしていることから、引き続き取締役候補者としております。

玉野博昭氏は、企業経営者を歴任し培われてきた経営者としての豊富な経験と幅広い知識を有しており、また、過去にも当社の取締役・執行役員に就任したことで、当社グループの業務にも精通しております。これらの経験・知見を当社の経営に活かすことができるものと判断し、取締役候補者として選任をお願いするものであります。

4. 社外取締役候補者の選任理由及び在任期間

東條巖氏は、長年にわたり、システム開発会社の経営にあたられた豊富な経験、知識を有しており、それらを当社の経営に活かしていただくため、社外取締役候補者として選任をお願いするものであります。

なお、同氏の社外取締役としての在任期間は、本定時株主総会終結の時をもって6年となります。

馬野耕至氏は、メディア戦略の企画等に関する豊富な経験、知識を有しており、当社の事業に有益な助言をいただけるものと判断し、社外取締役候補者として選任をお願いするものであります。

なお、同氏の社外取締役としての在任期間は、本定時株主総会終結の時をもって5年となります。

以 上